

先進歯科医学 (AD : Advanced Dentistry)

(2020年11月25日～12月15日)

コース責任者：(主) 近藤尚知、佐藤健一、入江太朗、熊谷章子

講座(分野)担当者： 補綴・インプラント学講座 近藤尚知
口腔顔面再建学講座(歯科麻酔学分野) 佐藤健一
歯科保存学講座(う蝕治療学分野) 野田 守
歯科保存学講座(歯周療法学分野) 八重柏隆
病理学講座(病態解析学分野) 入江太朗
法科学講座(法歯学・災害口腔医学分野) 熊谷章子

第4学年 後期

講義 実習
64.5時間 24.0時間

教育成果(アウトカム)(講義・実習)

先進歯科医学(Advanced Dentistry)では、保存修復学、補綴治療学等に関して理解、把握してきた知識を確かなものとし、さらに高度な歯科治療を学習し、実習を行うことによって各ユニットを修得する。さらに、先進的な内容である口腔インプラント学については基礎的な理解を深めるとともにより高度な臨床手技の修得を目標とする。摂食・嚥下リハビリテーション、Digital dentistry、スポーツ歯学、法歯学についても講義・実習を行うことでその内容の理解を深める。

一方、我が国では超高齢社会の到来により、様々な基礎疾患を有する患者が増加している。さらに、介護が必要な高齢者の増加と共に呼吸器感染症の予防や摂食嚥下機能の維持・回復のための口腔ケア等の重要性が高まっている。そこで国民の健康に貢献できるオーラルフィジシャン(口腔科医)となるために、高齢者に多くみられる全身疾患、口腔症状を理解し、それに加えて、医療の仕組みと多職種連携のチーム医療についても理解しておく必要がある。これらの内容については、e-Learning(三大学連携IT教育システム)を通して、知識と技能を修得する。

上記の目標を達成するために、講義、実習、手術見学などを行い、その後コース全体としての最終筆記試験を実施する。

(ディプロマ・ポリシー：1、2、3、4、5、6、8、9)

事前学習内容及び事前学習時間(30分)

事前学習(予習)は、シラバスに記載されている各回到達目標の内容に関し、教科書と適宜配布またはWebClassに提示される講義資料等を用いて調べて、ノートにまとめておくものとする。これには、各回最低30分以上を要する。各講義の冒頭または講義中に、適宜事前学習内容の発表時間を設ける。本内容はすべての講義に対して該当するものとする。

特記事項・その他

アクティブ・ラーニングを実施するために、ADの各講義・実習ではグループワークを取り入れ、伝える力の強化を図るとともに、各講義・実習時間内に講義・実習内容に関して担当教員とのディスカッションの機会を設ける。学生の理解度を必要に応じて講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して確認する機会も設ける。

講義担当者は、学生参加型講義を実施するために、必要に応じて過去の国試問題等を演習用に準備し、クリッカー等のICT機器を用いて、演習と解説の成果・習得の確認を行う。

各学生は講義内容を事前に予習した上で、各講義・演習および実習に臨むこと。講義終了後は、事前学習済み教材を活用し事後学習を必ず行うこと。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月24日 (火) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	法歯学概論 法歯学の概容を理解する。	1. 法歯学の歴史を説明できる。 2. 異状死について説明できる。 3. 死亡診断ができる。 4. 早期・晩期死体現象について説明できる。 5. 医療関連死について説明できる。 6. 死因究明推進制度を説明できる。 [B-2-3)-①、B-2-3)-②]
11月24日 (火) 2限	坂上和弘 (非常勤講師)	法医人類学 法医人類学の知識を身につける。	1. 人骨形態からどういった情報を引き出せるか説明できる。 2. 人骨に見られる男女差に関して説明できる。 3. 人骨から死亡時年齢を推定できる。 [B-2-3)-①]
11月24日 (火) 3限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	歯科的個人識別 歯科的年齢推定 歯科医師による個人識別について理解する。 エックス線写真による年齢推定法を習得する。	1. 歯科的個人識別の方法を説明できる。 2. 歯科的年齢推定の方法を説明できる。 3. グループワークを取り入れて、歯科的年齢推定を行える力の強化を図る。 [B-2-3)-①]
11月24日 (火) 4限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	歯科的年齢推定実習 歯からの年齢推定法を習得する。	1. 歯の加齢性変化に関する知識を使用して、歯1本から個人の年齢推定ができる。 [B-2-3)-①]
11月25日 (水) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	災害口腔医学概論 災害口腔医学の概容を理解する。	1. 大規模災害における歯科医師の立場を理解する。 2. 日本の身元確認システムを説明できる。 3. 身元確認に関する日本の制度を説明できる。 4. 海外の身元確認システムを説明できる。 5. DVI チームについて説明できる。 6. DMORT について説明できる。 [A-7-1)-⑥、B-2-2)-⑨]
11月25日 (水) 2限	菊月圭吾 客員教授	警察協力歯科医による検死活動 平時・災害時の歯科医師による検死活動を理解する。	1. 警察歯科医について説明できる。 2. 災害犠牲者に対する歯科医師の役割を説明できる。 3. 災害現場の遺体安置所での歯科医師の活動を説明できる。 4. 身元不明死体と候補者との照合について説明できる。 [B-2-3)-①、B-2-3)-②]
11月25日 (水) 3限	眞瀬智彦教授 (救急・災害・総合医学講座災害医学)	災害医学概論 災害医学の概容を理解する。	1. 過去に起きた大規模災害とその問題について説明できる。 2. 平時と災害時の医療の違いを説明できる。 3. DMAT, JMAT について説明できる。 4. 災害時トリアージについて理解する。 5. 多職種による災害時対応の意義を説明できる。 [A-7-1)-⑥]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月25日 (水) 4限	中久木康一 (非常勤講師)	災害時歯科医療実習 災害時の歯科保健医療活動を理解する。	1. 災害避難者に対する歯科医師の役割を説明できる。 2. 災害時の歯科保健医療の必要性を理解できる。 3. 被災者の口腔ケアの重要性について説明できる。 4. ロールプレイを通して、災害時避難所のアセスメントが行える力の強化を図る。 [B-2-2)-⑨]
11月26日 (木) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	歯科的個人識別実習 正確なデンタルチャートの記入方法を習得する。 遺体のデンタルエックス線写真撮影法を取得する。 照合による歯科的個人識別法を習得する。	1. 死後記録として有用となるデンタルチャートを完成させることができる。 2. 生前記録との照合作業ができる。 3. 学生同士でのディスカッションの機会を設け、正確で適切な歯科的個人識別を行える力の強化を図る。 [B-2-3)-①、B-2-3)-②]
11月26日 (木) 2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	災害発生時の初動準備実習 発災後の行動を理解する。	1. 災害現場出動のための準備が行える。 2. 安全に配慮した災害対応が行える。 3. 災害犠牲者に対する多職種と連携した作業が行える。 4. グループワークを取り入れて、災害現場の遺体安置所設営が行える。 [A-7-1)-⑥、B-2-3)-②]
11月26日 (木) 3限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	虐待 虐待と歯科医師の関わりを理解する。	1. 虐待の種類を説明できる。 2. 虐待防止の制度を説明できる。 3. 虐待に対する歯科医師の責務を説明できる。 4. 虐待発見時の通報先を説明できる。 5. 咬傷鑑定について説明できる。 [B-2-2)-⑥]
11月26日 (木) 4限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	咬傷鑑定実習 咬傷鑑定方法を理解する。	1. 被害者の咬傷と被疑者の歯列弓を科学的に分析できる。 2. 科学的分析結果についてプレゼンテーションを実施する機会を設ける。 [B-2-2)-⑥]
11月27日 (金) 1限	野田守教授 志賀華絵助教 (う蝕治療学)	審美歯科治療 1 非侵襲的処置と侵襲的治療法	1. 歯の漂白方法について説明できる。 2. ラミネートベニア修復について説明できる。 3. コンポジットレジン製のレイヤリングテクニックを説明できる。 [E-3-3)-(1)、E-3-3)-(2)] 事前学習：WebClass にアップする資料を理解しておく。医歯薬出版保存修復学第5章1、2、6章4、5、6、7 歯内療法学第14章1、2、3、4、5についてまとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月27日 (金) 2限	梶村幸一 (非常勤講師)	難易度の高い歯科治療1 レーザー治療 マイクロスコープ	1. 歯科用レーザーの種類と適用について説明できる。 2. 歯科用マイクロスコープの使用方法について説明できる。 [E-3-3)-(1)、E-3-3)-(2)、E-3-3)-(3)] 事前学習：WebClass にアップする資料を理解しておく。医歯薬出版保存修復学4章4、歯内療法学第13章1、2、3についてまとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションする。
11月27日 (金) 3限	千葉豊和 (非常勤講師)	審美歯科治療2 クラウンブリッジによる審美修復	1. クラウンブリッジの審美修復について説明できる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：審美修復・審美治療とはどのような治療でどのように行われるのか、事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
11月27日 (金) 4限	千葉豊和 (非常勤講師)	審美歯科治療3 インプラントによる審美修復・即時修復	1. インプラントの審美修復について説明できる。 2. 即時修復・即時荷重の方法とその意義について説明できる。 3. 即時修復・即時荷重と通法の違いについて説明できる。 [E-3-4)-(3)-(5)] 事前学習：審美修復・審美治療とはどのような治療でどのように行われるのか、事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
11月30日 (月) 1限	入江太郎教授 (病態解析学)	口腔病理学1 病理検査の流れと検査施行の注意点を理解する。	1. 病理検査の流れを説明できる。 2. 特殊染色や病理学的な遺伝子検査の意義とその仕組みを説明できる。 [E-2-4)-(6)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p323-330 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
11月30日 (月) 2限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	口腔病理学2 インプラントに伴う病理変化を理解する。	1. インプラントに伴う生体反応を説明できる。 2. 骨再生、炎症、骨髄炎、偶発症における病理変化を説明できる。 [E-3-4)-(3)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p120-131 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月30日 (月) 3限	大平千之 (非常勤講師)	Digital Dentistry 1 デジタル技術の歯科治療への応用	1. Digital Dentistry の特徴について説明できる。 2. CAD/CAM システムを用いたインレー、クラウン、可撤性義歯製作方法について説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑤、E-3-4)-(1)-⑥] 事前学習: 歯科に導入されているデジタル技術とCAD/CAM について、教科書等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
11月30日 (月) 4限	大平千之 (非常勤講師)	Digital Dentistry 2 CAD/CAM、口腔内スキャナーを応用した補綴処置	1. Digital Dentistry の臨床応用について説明できる。 2. CAD/CAM システムを用いた歯科技工について説明できる。 3. 口腔内スキャナーの使用方法について説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑤、E-3-4)-(1)-⑧] 事前学習: CAD/CAM、口腔内スキャナー、ミリングマシン、3Dプリンタについて、教科書等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
12月1日(火) 1限	梅原一浩 (非常勤講師) 近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	Digital Dentistry 3 IT を応用した診断と治療計画	1. デンタルインプラントの診断について説明できる。 2. 埋入手術シミュレーションについての説明ができる。 [E-3-4)-(3)-①～③] 事前学習: Digital Dentistry とはどのような治療でどのように行われるのか、事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
12月1日(火) 2限	近藤尚知教授 深澤翔太助教 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学)	Digital Dentistry 4 シミュレーション実習 口腔内スキャナーによる光学印象採得実習	1. 口腔内スキャナーの使用方法が説明できる。 2. 模型の歯列に対して、口腔内スキャナーを用いた光学印象採得ができる。 [E-3-4)-(3)-③～⑤] 事前学習: 口腔内スキャナーの使用法について事前にしらべ、500字程度でまとめ、ディスカッションできるようにしておく。
12月1日(火) 3限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	デンタルインプラント1 PCを用いた診断と埋入手術シミュレーション	1. デンタルインプラントの診断について説明できる。 2. 埋入手術シミュレーションについての説明ができる。 [E-3-4)-(3)-⑤] 事前学習: インプラント治療の診断を行うにあたり必要な検査項目と埋入手術の術式について、教科書を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月1日(火) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	デンタルインプラント2 補綴主導型インプラント治療・骨増生法	1. 補綴主導型インプラント治療について説明できる。 2. 診断に基づき骨移植の必要性を判断できる。 3. 前歯部のインプラント埋入の原則について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑤⑥] 事前学習：骨移植の種類について、教科書を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
12月2日(水) 1限	春日井昇平 (非常勤講師)	デンタルインプラント3 インプラント治療の予後と偶発症	1. インプラント治療の予後について説明できる。 2. インプラント治療における偶発症について説明できる。 [E-3-4)-(3)-①~③⑧] 事前学習：インプラントの偶発症について、事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
12月2日(水) 2限	堀内克啓 (非常勤講師)	デンタルインプラント4 高度なインプラント外科手術	1. インプラント治療における骨移植の方法について説明できる。 2. インプラント治療における骨造成法の種類と適応について説明できる。 [E-3-4)-(3)-④⑤] 事前学習：インプラント関連の骨移植と骨補填材料について、事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
12月2日(水) 3限	米澤 悠助教 畠山 航助教 齊藤裕美子助教 ※高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	インプラント手術室・ CAD/CAM センター見学1	1. 手術室における器具に準備を説明できる。 2. 患者の誘導について説明できる。 3. 術中管理・術後管理について説明できる。 4. CAD/CAM システムについて説明できる 5. CAD/CAM センターの器材について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑥⑦] 事前学習：CAD/CAM による補綴装置の製作方法について、事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
12月2日(水) 4限	米澤 悠助教 畠山 航助教 齊藤裕美子助教 ※高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	インプラント手術室・ CAD/CAM センター見学2	1. 手術室における器具に準備を説明できる。 2. 患者の誘導について説明できる。 3. 術中管理・術後管理について説明できる。 4. CAD/CAM システムについて説明できる。 5. CAD/CAM センターの器材について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑥⑦] 事前学習：インプラントの埋入手術、2次手術の術式について、事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月3日(木) 1限	※高藤恭子助教 近藤尚知教授 鬼原英道教授 高橋敏幸講師 田邊憲昌准教授 畠山航助教 横田潤助教 折祖研太助教 (補綴・インプラント学) 山中拓人 (非常勤講師)	インプラント実習準備 ①器具の確認 ②個人トレー作製用模型準備	1. インプラント体の埋入器具の準備ができる。 2. インプラント埋入手術の手順を説明できる。 3. 個人トレーの製作法を理解する。 [E-3-4)-(3)-⑤⑥] 事前学習：FR で学んだインプラントの埋入手術に使用する器具について、事前に調べ、500字程度にまとめ、ディスカッションできるようにしておく。
12月3日(木) 2限	※近藤尚知教授 鬼原英道教授 高橋敏幸講師 田邊憲昌准教授 高藤恭子助教 畠山航助教 横田潤助教 折祖研太助教 (補綴・インプラント学) 山中拓人 (非常勤講師)	Digital Dentistry 5 シミュレーション実習 PCを用いた埋入手術シミュレーション	1. PCを用いた埋入手術シミュレーションと診断ができる。 2. 診断に基づき骨移植の必要性を判断できる。 [E-3-4)-(3)-③~⑤] 事前学習：FR で学んだ補綴主導型インプラント治療と前歯部の症例について、事前に調べ、500字程度にまとめ、ディスカッションできるようにしておく。
12月3日(木) 3、4限	※田邊憲昌准教授 高橋敏幸講師 畠山航助教 横田潤助教 福德暁宏助教 近藤尚知教授 (補綴・インプラント学) 豊田康夫 鈴木卓哉 佐藤武司 金村清孝 (非常勤講師)	スポーツマウスガード製作実習 ①製作法講義 ②マウスガード製作	1. マウスガードの製作手順が説明できる。 2. マウスガードを製作できる。 [E-2-4)-(2)-①~③、F-1-2)-⑤] 事前学習：マウスガードの製作法について、教科書等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、実習が滞りなくできるようにしておく。
12月4日(金) 1、2、3限	※高藤恭子助教 近藤尚知教授 鬼原英道教授 高橋敏幸講師 田邊憲昌准教授 畠山航助教 横田潤助教 折祖研太助教 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 山中拓人 (非常勤講師)	インプラント埋入実習 ①器材確認 ②インプラント埋入	1. インプラント体の埋入器具の準備ができる。 2. インプラント埋入手術の手順を説明できる。 3. 手術器具を適切に扱うことができる。 4. インプラントの埋入手術に必要な手技を習得する。 [E-3-4)-(3)-⑤] 事前学習：FR で学んだインプラントの埋入について、使用する器具と術式について、事前に調べ、500字程度にまとめ、実習が滞りなくできるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月4日(金) 4限	※高藤恭子助教 近藤尚知教授 鬼原英道教授 田邊憲昌准教授 畠山航助教 横田潤助教 折祖研太助教 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 山中拓人 (非常勤講師)	インプラント印象採得実習	1. インプラント印象採得に必要な器具の準備ができる。 2. 個人トレーの作製の手技を習得する。 3. インプラント印象採得の手順を説明できる。 4. インプラント印象採得必要な手技を習得する。 [E-3-4)-(3)-⑥] 事前学習：FR で学んだインプラントの印象採得について、使用する器具と術式について、事前に調べ、500字程度にまとめ、実習が滞りなくできるようにしておく。
12月7日(月) 1限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学) 城茂治 (非常勤講師)	高齢者歯科1 訪問歯科(1) 在宅介護における歯科医師の役割について学ぶ。	1. 訪問診療でのチーム医療を説明できる。 2. 他職種とのコミュニケーションの重要性を説明できる。 3. 家族とのコミュニケーションの重要性を説明できる。 [E-5-1)-①②⑦] 教員とのディスカッションの機会を設ける。各講義の中で、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。WebClass で小テストを行い、適宜フィードバックを行う。 事前学習：老年歯科医学 p27～47 を読み、疑問点をまとめておくこと。
12月7日(月) 2限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学) 城茂治 (非常勤講師)	高齢者歯科2 訪問歯科(2) 訪問診療の実際を学ぶ。	1. 在宅患者の全身評価ができる。 2. 医科担当医との情報交換ができる。 3. 介護職員との情報交換ができる。 [E-5-1)-⑦] 教員とのディスカッションの機会を設ける。各講義の中で、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。WebClass で小テストを行い、適宜フィードバックを行う。 事前学習：老年歯科医学 p48～56 を読み、疑問点をまとめておくこと。
12月7日(月) 3限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学) 城茂治 (非常勤講師)	高齢者歯科3 訪問歯科(3) 訪問診療の実際を学ぶ。	1. 訪問診療の流れを説明できる。 2. 訪問診療の保険について説明できる。 3. 訪問診療に必要な機材を説明できる。 [E-5-1)-⑦] 教員とのディスカッションの機会を設ける。各講義の中で、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。WebClass で小テストを行い、適宜フィードバックを行う。 事前学習：老年歯科医学 p262～298 を読み、疑問点をまとめておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月7日(月) 4限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	高齢者歯科4 (大学間連携 IT 教育) IT 教育の目的 オリエンテーション 三大学連携 IT 教育の目的、使用設備について理解する。	1. 三大学連携 IT 教育で学ぶ目標を説明する。 2. IT システムに接続できる。 3. IT システムを利用できる。 4. PC を用いて必要な情報を得る。 5. 電子ポートフォリオを作成する。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①②] 事前学習:一般的な PC の使用法を理解しておく。
12月8日(火) 1限	村井治助教 (歯周療法学) 須和部京介 (非常勤講師)	高齢者歯科5 (大学間連携 IT 教育) 高齢社会とチーム医療① 脳梗塞などの疾患で入院した高齢者に対するチーム医療での歯科の関わりについて学び、急性期の歯科医師の役割を理解する。	1. 脳卒中の急性期症状と全身および口腔の機能について説明する。 2. 急性期のチーム医療体制を説明する。 3. 病院における急性期の医療・歯科の連携医療を説明する。 4. 病院における急性期患者に対する口腔ケアの実施について説明する。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①②] 事前学習:「脳卒中」について事前学習を行う。
12月8日(火) 2限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	高齢者歯科6 (大学間連携 IT 教育) 高齢社会と歯科医療① 高齢者で多く見られる基礎的疾患を理解し、歯科治療時の注意点について学ぶ。	1. 高血圧症について説明する。 2. 高血圧症を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を列挙する。不整脈について説明する。 3. 心房細動を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を列挙する。 4. 抗凝固療法の適応について説明する。 5. 抗凝固療法中の高齢者の歯科治療中の注意点を列挙する。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①②] 事前学習:「高血圧と不整脈」について事前学習を行う。
12月8日(火) 3限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	高齢者歯科7 (大学間連携 IT 教育) 高齢社会と歯科医療② 高齢者で多く見られる基礎的疾患を理解し、歯科治療時の注意点について学ぶ。	1. 高齢者で多く見られる基礎疾患を列挙する。 2. 糖尿病について説明する。 3. 糖尿病を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を列挙する。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①②] 事前学習:「糖尿病」について事前学習を行う。
12月8日(火) 4限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学) 熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学) 岸 光男教授 (予防歯科学)	高齢者歯科8 (大学間連携 IT 教育) 高齢社会と歯科医療③ 口腔乾燥を訴える患者に対する医療面接を学ぶ。	1. 口腔乾燥を訴える患者の医療面接の要点を挙げる。 2. 口腔乾燥を訴える患者の鑑別診断をする。 3. 口腔乾燥症と基礎疾患との関連について説明する。 4. 口腔乾燥症の診断基準を挙げる。 5. 口腔乾燥症の治療法を説明する。 [E-5-1)-①②、E-2-4)-(11)-⑤] 事前学習:「口腔乾燥症の特徴と治療方法」について事前学習を行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月9日(水) 1限	古屋純一 (非常勤講師)	摂食嚥下リハビリテーション1 摂食嚥下のメカニズムと摂食嚥下障害の病因と病態を理解する。	1. 摂食嚥下の5期について説明できる。 2. 摂食嚥下障害について説明できる。 3. 摂食嚥下障害の病因について説明できる。 4. 摂食嚥下障害の病態について説明できる。 [E-5-1)-⑧⑨] 教員とのディスカッションの機会を設ける。各講義の中で、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。WebClass で小テストを行い、適宜フィードバックを行う。 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p2～18、20～49、58～67、70～110 を読み、疑問点を500字程度にまとめ発表できるようにしておくこと。
12月9日(水) 2限	古屋純一 (非常勤講師)	摂食嚥下リハビリテーション2 摂食・嚥下障害の検査法と診断を理解する。	1. 摂食嚥下障害のスクリーニングテストについて説明できる。 2. 摂食嚥下障害の精密検査について説明できる。 3. 摂食嚥下障害の診断について説明できる。 4. 摂食・嚥下リハビリテーションの治療計画法について説明できる。 [E-5-1)-⑧] 教員とのディスカッションの機会を設ける。各講義の中で、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。WebClass で小テストを行い、適宜フィードバックを行う。 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p124～156、58～67 を読み、疑問点を500字程度にまとめ発表できるようにしておくこと。
12月9日(水) 3限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション3 摂食・嚥下リハビリテーション 摂食・嚥下障害のリハビリテーションを理解する。	1. 間接訓練と直接訓練について説明できる。 2. 代償法について説明できる。 3. 多職種連携、様々な対応法について説明できる。 [E-5-1)-④⑨、G-4-③] 教員とのディスカッションの機会を設ける。各講義の中で、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。WebClass で小テストを行い、適宜フィードバックを行う。 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p157～165、167～181 を読み、疑問点を500字程度にまとめ発表できるようにしておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月10日(木) 1限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション4 摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケア法と高齢者の栄養管理法について理解する。	1. 摂食・嚥下リハビリテーションと高齢者の口腔管理について説明できる。 2. 摂食・嚥下障害のリスク管理について説明できる。 3. 摂食・嚥下リハビリテーションと栄養管理について説明できる。 [E-5-1)-⑥⑦、E-2-4)-(11)-②、F-3-7)-③] 教員とのディスカッションの機会を設ける。各講義の中で、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。WebClass で小テストを行い、適宜フィードバックを行う。 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p182～192 を読み、疑問点を 500 字程度にまとめて発表できるようにしておくこと。
12月10日(木) 2限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション5 摂食嚥下障害に対する歯科的対応・補綴的対応	1. 摂食・嚥下リハビリテーションと口腔内装置について説明できる。 2. 補綴的対応以外の歯科的対応について説明できる。 [E-2-4)-(11)-②] 教員とのディスカッションの機会を設ける。各講義の中で、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。WebClass で小テストを行い、適宜フィードバックを行う。 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p196～212 を読み、疑問点を 500 字程度にまとめて発表できるようにしておくこと。
12月10日(木) 3限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション6 高齢者に対する摂食・嚥下リハビリテーションと訪問診療を理解する。	1. 訪問診療と摂食・嚥下リハビリテーションについて説明できる。 2. 摂食嚥下障害に対する病院での対応について説明できる。 3. 摂食嚥下障害に対する在宅での対応について説明できる。 [E-5-1)-⑤⑥⑦、G-4-①②③] 教員とのディスカッションの機会を設ける。各講義の中で、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。WebClass で小テストを行い、適宜フィードバックを行う。 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p214～233 読み、疑問点を 500 字程度にまとめて発表できるようにしておくこと。
12月10日(木) 4限	武部純 (非常勤講師)	難易度の高い歯科治療2 (顎顔面補綴) 顎顔面補綴の概念と治療法を理解する。	1. 顎顔面補綴の定義を説明できる。 2. 顎顔面補綴の分類を説明できる。 3. 顎顔面補綴の治療手順を説明できる。 事前学習：「顎顔面補綴の定義と分類」について、事前に調べ、500 字程度にまとめて発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月11日(金) 1限	馬場一美 (非常勤講師) 近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	Digital Dentistry 6 CAD/CAM、口腔内スキャナーを応用した補綴処置	1. Digital Dentistry の臨床応用について説明できる。 2. CAD/CAM システムを用いた歯科技工について説明できる。 3. 口腔内スキャナーの使用方法について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑥] 事前学習：CAD/CAM、口腔内スキャナー、ミリングマシン、3Dプリンタがどのように歯科技工に応用されているか、教科書等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
12月11日(金) 2限	近藤尚知教授 田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	スポーツ歯科 1 スポーツ歯学	1. スポーツ歯学・スポーツ医学の意義について説明できる。 2. スポーツ基本法について説明できる。 3. マウスガードの目的と機能を説明できる。 4. スポーツ選手と歯科との関わり合いについて説明できる。 [E-2-4)-(2)-①～③] 事前学習：スポーツ医学、スポーツ歯学とはどのような学問であるのか、またマウスガードの役割について、教科書等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
12月11日(金) 3限	近藤尚知教授 田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学) 末綱太 (非常勤講師)	スポーツ歯科 2 スポーツ医学	1. スポーツ医学・スポーツ歯学について説明できる。 2. スポーツドクターの役割を説明できる。 3. スポーツの現場における外傷について説明できる。 [E-2-4)-(2)-①～③] 事前学習：スポーツの現場での外傷(口腔外傷含む)について、教科書等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
12月11日(金) 4限	石山信男 (非常勤講師) 片寄正樹 (非常勤講師)	スポーツ歯科 3 トップアスリートに対する 医科学サポート 国際大会における医科学サポート	1. スポーツ医学について説明できる。 2. スポーツの現場における医療チームについて説明できる。 3. トレーナーの役割について説明できる。 [E-2-4)-(2)-①～③、F-1-2)-⑤] 事前学習：スポーツの現場における医療チームとサポート、コンデショニングについて、教科書等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
12月14日(月) 1限	八重柏隆教授 (歯周療法学) 高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	難易度の高い歯科治療 3 (歯周病治療とインプラント治療) 難症例に対する治療法を理解する。	1. 歯周病患者に対するインプラント治療の在り方を知る。 2. インプラント周囲炎について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑦] 事前学習：インプラント周囲炎について、事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月14日(月) 2限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	難易度の高い歯科治療 4 (咬合再構築症例) 難症例に対する治療法を理解する。	1. クラウンブリッジ、床義歯による補綴の定義を説明できる。 2. 咬合の崩壊した難症例に対するクラウンブリッジと床義歯治療の手順を説明できる。 [E-3-4)-(1)-①、E-3-4)-(3)-⑦] 事前学習：「咬合再構成」について、事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
12月14日(月) 3限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	難易度の高い歯科治療 5 (床義歯補綴と摂食嚥下リハビリテーション) 難症例に対する治療法を理解する。	1. 無歯顎補綴の定義を説明できる。 2. 難症例に対する床義歯補綴の治療手順を説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑦] 事前学習：全部床義歯の製作方法についてFRの講義・実習を復習し、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
12月14日(月) 4限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	デンタルインプラント 5 インプラントのメンテナンス・インプラント周囲炎	1. インプラント周囲炎の原因について説明できる。 2. インプラント周囲炎の対処法について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑧] 事前学習：インプラントのメンテナンス、インプラント周囲炎」について、事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。

コース最終試験 日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月15日(火) 1、2限	野田守教授 (う蝕治療学) 近藤尚知教授 鬼原英道教授 田邊憲昌准教授 高藤恭子助教 (補綴・インプラント学) 小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学) 入江太郎教授 (病態解析学) 八重柏隆教授 (歯周療法学)	最終筆記試験	
12月15日(火) 3限		コースアンケート	

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	法歯科医学	高橋雅典 監修、都築民幸、山田良広、櫻田宏一 編	永末書店	2017年
教	よくわかる口腔インプラント学 3版	矢谷博文ほか著	医歯薬出版	2017年
教	クラウンブリッジ補綴学 5版	矢谷博文ほか編	医歯薬出版	2014年
教	要説スポーツ歯科医学	石上恵一ほか編	医学情報社	2015年
教	無歯顎補綴治療学 第3版	市川哲雄ほか編	医歯薬出版	2016年
教	老年歯科医学	森戸光彦ほか編	医歯薬出版	2015年
教	歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学	向井美恵, 山田好秋, 井上誠, 弘中祥司ほか編	医歯薬出版	2019年
参	災害歯科医学	槻木恵一、中久木康一 編	医歯薬出版	2018年
参	臨床法医学テキスト	佐藤喜宣 編著	中外医学社	2012年
推	3.11 Identity	Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team	ブックウェイ	2016年
推	家族のもとへ、あなたを帰す	柳原三佳	WEVE 出版	2012年
参	エッセンシャル口腔インプラント学	古谷野潔ほか著	医歯薬出版	2009年
参	図説無歯顎補綴学:理論から装着後の問題解決まで	山縣健佑ほか著	学建書院	2004年
参	パーシャルデンチャーアトラス:デザイン理論と臨床遊離端義歯を中心に	大山喬史 編著	医歯薬出版	2005年
参	コンプリートデンチャーテクニック 6版	細井紀雄ほか編	医歯薬出版	2011年

成績評価方法

<p>講義（65点以上で合格）：コース最終筆記試験の総合評価 実習（65点以上で合格）：実習（態度、知識、技能）評価、 コース最終筆記試験実習の総合評価 講義と実習が、それぞれ合格した場合に合格とする。</p> <p>備考 授業態度、実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、 積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる） を評価対象とする。 講義・実習ともに欠席・遅刻に応じて減点する。</p>

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
デジタル1眼レフカメラ一式	EOS 7D	1	基礎実習用機器	学生配布資料記録用
レーザービームプリンタ Satera	LBP9200C	1	基礎実習用機器	学生配布資料記録用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
コーケン内視鏡 洗浄容器	#1081	1	基礎実習用機器	学生配布資料提示用
ハロゲン光源装置	LH-150PC	1	基礎実習用機器	学生配布資料提示用
内視鏡用CCDカメラ	PSV-4000	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	嚥下に関わる機器、内視鏡 検査の説明用
モデルキャプチャートライ		2	基礎実習用機器	マウスガード作製実習のため
ノートパソコン	PT67VGPBJA	1	視聴覚用機器	4 学年講義での使用
ノートパソコン LIFEBOOK 一式	A576/PX	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料作成
ノートパソコン LIFEBOOK 一式	A576/PX	1	基礎実習・研究用機器	生前・死後記録照合用
DEXIS プラチナセンサ ー		1	基礎実習・研究用機器	CCDセンサーを使用したポ ータブルエックス線写真撮影 練習用
ノートパソコン VersaPro タイプVC	PC-VK25LCLCZ KTMHBZZY	1	基礎実習・研究用機器	CCD センサーを使用したポ ータブルエックス線写真撮影 練習用
放射線防護用エプロン	100010-2	1	基礎実習・研究用機器	ポータブルエックス線写真撮 影練習用に着用
デスクトップパソコン ProDesk400 一式	G4 SF/CT	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成
Straumann CARES p30 スターターセット一式	Straumann CARES p30	1	基礎実習・研究用機器	CAD/CAM センター見学実 習
デスクトップパソコン	XPS-8930	1	基礎実習・研究用機器	CAD/CAM センター見学実 習
エルコフォーム 3D Plus	J81877	2	基礎実習・研究用機器	マウスガード作製実習
Aadva IOS		2	基礎実習・研究用機器	口腔内スキャナー実習
TRIOS3 POD PEN タイ プ		1	基礎実習・研究用機器	CAD/CAM センター見学実 習
口腔機能管理模型	OHC1009-UL-SP	1	基礎実習・研究用機器	検視・身元確認活動でのデン タルチャート作成時の資料